

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査の進め方に関する
面談

2. 日 時：令和5年11月21日（火）9：00～9：45

3. 場 所：原子力規制庁10階南会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

志間安全規制管理官（研究炉等審査担当）、菅生管理官補佐、島田総括係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括本部 郡司 本部長代理 他2名

敦賀廃止措置実証本部 副本部長

大洗研究所 技術主幹 他3名

人形峠環境技術センター 安全管理課 マネジャー 他1名

原子力科学研究所 臨界ホット試験技術部 実用燃料試験課 課長 他2名

5. 要 旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、許認可審査案件のスケジュールについて、資料1に基づき、前回面談（令和5年10月26日）からの変更点の説明があった。

○原子力規制庁（以下「規制庁」という。）から、以下の点を伝えた。

- ・前回面談時に案件ごとの優先度を整理し、申請時期等を再考するよう伝えたところ、今回新たな申請予定案件が追加されているが、これらの優先順位をどのように考えているのか。
- ・原子力科学研究所の処理場（放射性廃棄物の廃棄施設）については、審査状況を踏まえ、スケジュールを見直すこと。

○これに対し機構から、機構が示す優先度の高いもの（資料上「◎」）から優先して審査を進めて欲しいと考えている旨、及び処理場のスケジュール見直しについて承知した旨の回答があった。

6. 配布資料

資料1 原子力規制庁研究炉等審査部門等における JAEA 許認可審査案件